2020年5月1日

吹奏楽局から１年生の皆さんへ　３

定期演奏会の紹介

　吹奏楽局の行事の中で、最も大きなものが、年に１回の「定期演奏会」です。１年生の中には、ご覧になったことがある人もいるかもしれません。創設以来、毎年小樽市民会館にて開催しており、昨年の演奏会で３３回を数えます。１年間の活動の総まとめとして、演奏技術の一層の向上を図り、多くの皆さまに成果を披露する機会としています。

　演奏曲の選定、演出や照明の考案といった演奏に関わることだけでなく、ポスターやプログラムの制作、協賛の依頼や外部の方への連絡、チケットの販売など、渉外や事務的なことも局員全員で行います。計画を始めてから本番まで、準備に費やす時間は半年ほどで、「一大プロジェクト」というべきでしょう（右は、昨年度の定期演奏会のポスターです）。

　定期演奏会は３部構成で行っています。これまで行ってきた定期演奏会の様子を、少しだけご紹介させていただきます。



第１部

　主に、クラシックの名曲や、吹奏楽のために書かれた曲を演奏しています。また、吹奏楽コンクールや高文連などの大会で演奏した曲を演奏しています。

　大会や行事で演奏する際に着用するユニフォームを着て演奏します。





第２部

　第１部とは雰囲気をガラッと変え、ポップスや歌謡曲など、幅広い世代で親しまれている曲を演奏します。また、踊りやパフォーマンスを取り入れたり、ソロなどはスタンドプレーをしたり、照明効果も凝っています。これらは局員が考案しています。

　局で作っている揃いのポロシャツを着て演奏します。





第３部
局員企画のステージです。演奏する曲は第２部同様ですが、演出効果はより華やかです。
パートごとに異なる衣装を着用し、パフォーマンスも行ったりしています。





最後に
準備期間が長く、局員全員が協力して様々なことを行う分、演奏会が終わった後の充実感や感動はとても大きなものです。しかし、演奏会は局員だけでは成立しません。リハーサルから本番まで、小樽市民会館のスタッフの方には、様々な面で多大なるご協力をいただいています。また、演奏会当日は、吹奏楽局の卒業生に受付や照明操作、舞台配置の変更など、局員が関われない部分をお手伝いいただいています。




写真でご覧になるよりも、実際に会場へ足を運び、演奏を聴いていただけましたら、より大きな感動を味わっていただけるかと思います。
もちろん、メンバーとして私たちと一緒にステージを共にする１年生がたくさんいると嬉しいです。

今年の小樽潮陵高校吹奏楽局　第34回定期演奏会は、
８月２３日（日）１８：００開場、１８：３０開演（予定）　小樽市民会館にて

時期が近づきましたら、改めてご案内いたします。